

学習指導要領

山梨県教育大綱
山梨県学校教育指導重点

学校教育目標

基本理念 「須(すべから)ク玉磨クベシ」(須磨玉)

校訓 「切磋琢磨」

教育目標

- 心豊かな人
- たくましい人
- 考える人
- 公共に尽くす人

北杜市の学校教育
「原っぱ教育」

家庭・地域
・学校の願い

めざす生徒像

- ① 礼儀正しい生徒
- ② 集団の一員としての自覚をもち互いに尊重し助け合える生徒
- ③ 粘り強く最後までやり抜く生徒
- ④ 進んで学習に取り組み、仲間とともに学ぶ生徒
- ⑤ 広い視野で考え正しく判断し、表現できる生徒
- ⑥ 進んで勤労・奉仕的活動に取り組む生徒

教科

「確かな学力の育成」

- ・基礎的基本的な知識や技能の習得
- ・思考力、判断力、表現力等、知識や技能を活用して課題を解決する能力の育成
- ・自ら学ぶ意欲や態度の育成
- ・ICT教育の推進
- ・学習規律の徹底と家庭学習の充実

特別の教科 道徳

「しなやかな心の育成」

- ・基本的生活習慣の習得
- ・思いやりの心の育成
- ・それぞれの個性や立場を尊重し認め合う態度の育成
- ・生命の尊さを理解し、他の生命を尊重する態度の育成
- ・いじめや不登校への未然防止に向けた取組
- ・自己肯定感、自己有用感、充実感を感じられる集団づくり

総合的な学習の時間

「自ら学び考える力の育成」

- ・自分で課題を見つけ、主体的に判断して解決する資質や能力の育成
- ・学び方やものの考え方を身に付け、問題や課題に主体的・創造的に取り組む態度の育成
- ・地域、環境、福祉等について知り、生活や生き方に生かそうとする態度の育成

特別活動

「たくましく生きる力の育成」

- ・自他の良さを認め、個性の伸長を図ろうとする態度の育成
- ・集団生活の向上のために、協力して自主的、実践的に取り組もうとする態度の育成
- ・より良い人間関係を築こうとする態度の育成
- ・学ぶことと働くことの意義を理解し、社会人や職業人として生きていくための基礎となる能力や態度の育成

学校経営の方針

本年度の重点

- ① 「生きる力」を育む教育課程の編成と実施に努める。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- ③ 生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに努める。
- ④ 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる学年や学級の集団づくりに努める。
- ⑤ 体力の向上や、健康や安全教育に関する理解を深め、実践する力を育成する。
- ⑥ PTA活動や学校運営協議会の取組等を通して、保護者・地域の方々との連携を図り、「地域に根ざした信頼される学校づくり」に努める。

学校経営の具体的方針

- ・学習内容の精選や個に応じた学習を工夫して、知識及び技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力を高め、主体的に学習に取り組む態度を育てる。
- ・各教科において言語活動やICT等を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を行う。
- ・自尊感情や自己肯定感を高めるために、仲間とのより良い関わり方を学ぶ道徳科の授業や体験活動等を仕組む。
- ・日頃より生徒理解に努め、教職員で共通理解を図る中で、適切な生徒指導にあたり、学級経営の充実を図る。
- ・食や保健に関する指導について家庭との連携を図る中で、健康・安全及びより良い生活習慣について理解を深め、実践力を育てる。
- ・体力テストの結果に基づいて授業改善に取り組むとともに、日常的な体力づくりにも取り組む。
- ・各種通信(学校・学年・学級だより等)を通して、学校の様子を家庭や地域に発信する。
- ・須玉小学校とPTA、地域の方々等が協働体制で取り組む「須玉小中学校運営協議会」を設置し、運営にあたる。
- ・危機管理マニュアルの改善・充実を図るとともに、学校生活や登下校時等の安全確保と指導を徹底する。
- ・業務改善と多忙化解消の取組をすすめ、教職員の心身の健康の維持と向上を推進していく。

家庭・地域との連携